

他人になる

クリスリ6



R18
ADULT ONLY



カラオケ
なんて
久しぶりかも



確かに
ここなら誰にも
話聞かれずに
すむね

休日
突然呼び出して
ごめんなさ…
わ…
わ…
わるい



あ…今は
たかひら かえで
高比良 楓さん
だったね



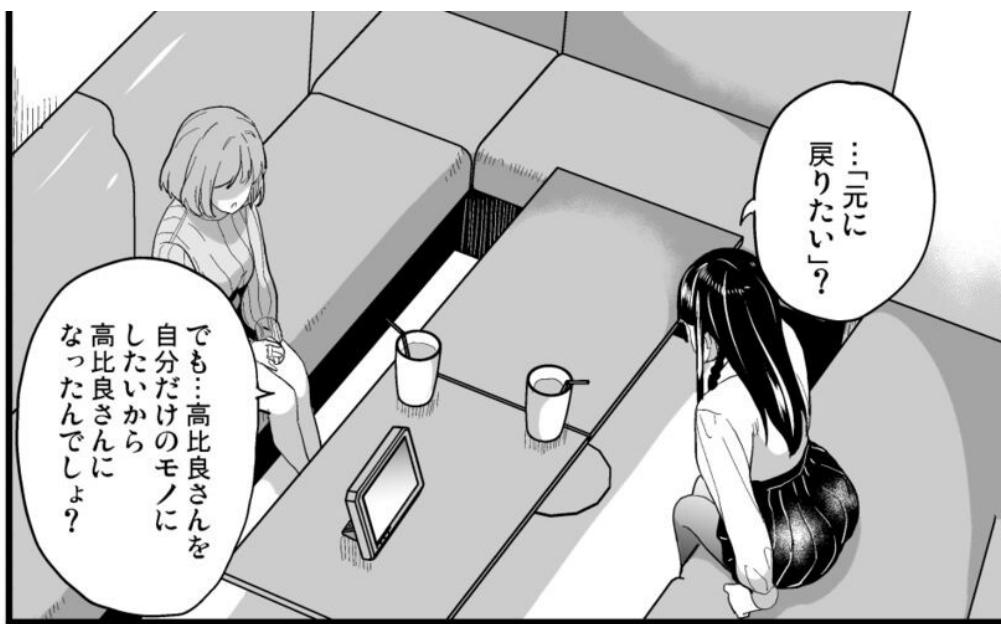
クス
無理に男っぽい
口調にしなくても
いいのに

ね
大島君



あ…あの…

でも…
それは…



…「元に
戻りたい」?

でも…高比良さんを
自分だけのモノに
したいから
高比良さんに
なったんでしょ?



言葉が
うまく
出てこない…

前の自分はこんな
じゃなかったのに

言いたいことは
それなりに言えたし
こんなに緊張もしなかった

ドキ
ドキ

その…



私…
じゃなくて…

オ…オレは…



身体だけでなく
精神的にも

はあ

はあ

自分が高比良^私楓に
なってしまったことを
嫌でも実感してしまう



高比良さん？

ふーん
どんなことにな
ったの？



確かに
た…高比良さんを
他の男子に
取られたくなかったし

自分だけのモノに
したいって思ったけど
こんなことになる
なんて聞いてないよ



だッ…
だから
私は大島 健太
だってばあ

自分で言っ
ておきながら
恥ずかしさが
込み上げてくる



これも全て
目の前にいる
三浦さんと

せっかくだから
カラオケする？

あのクスリのせい

俺の隣の席だった
高比良 楓

彼女は物静かで
恥ずかしがり屋
だったけど

ゲームや漫画という
共通の趣味をきっかけに
よく話すようになった

連日2人だけで
ゲームをすることも
あったし

ここ
オレがサポート
まわるよ

このまま
付き合えるんじゃ
ないかと思っていた
矢先…

好きな
男子についての
相談だった

…あの…
大島君に
相談があるんだけど…

え…
相談って…

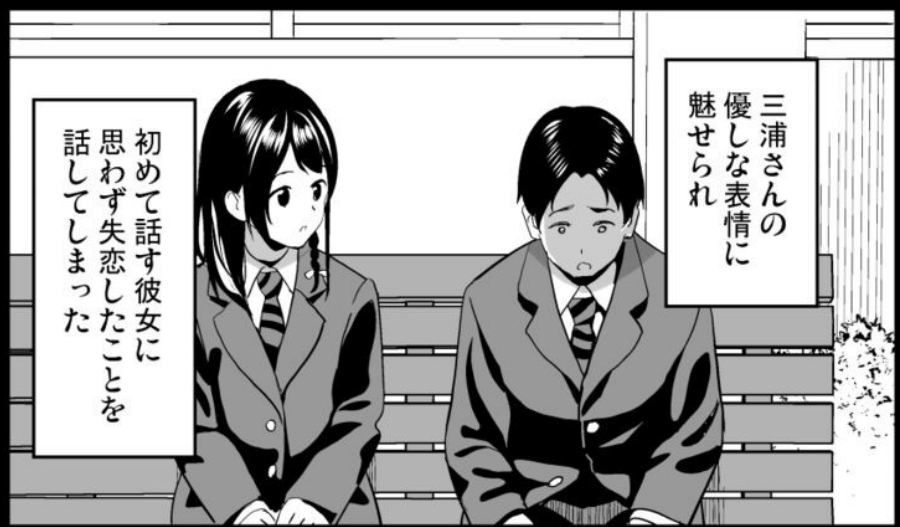


はあ…

なんだか
この世の終わり
みたいな顔してるよ



大島君は
このままでいいの？



三浦さんの
優しい表情に
魅せられ

初めて話す彼女に
思わず失恋したことを
話してしまった



そ…そんなの…
嫌だ…

…だよ



…もし
その男子と
恋人同士に
なったら

嬉しそうに
大島君に
報告するかも
しれないね

クスッ



ねえ
想像してみて

内気だけど
自分には
心を開いて
楽しいに話す
可愛い女の子

そう思っていた
彼女が
他の男子と仲良く
話している姿



だから
コレをあげる

なんだよ
それ…

他人を自分だけの
モノにできる
クスリ…かな



ね

これで
高比良さんを誰かに
とられる心配は
なくなったでしょ？

で…でも



クスリを使うのを
選んだのは
大島君だよ？

…それは
三浦さんの言葉に
乗せられた勢いで…



あのクスリが
本物だと
思わなかったし

まさか本当に
高比良
私の全てを
奪っちゃうなんて…



本当に元に戻りたいって思ってる？

…大島君



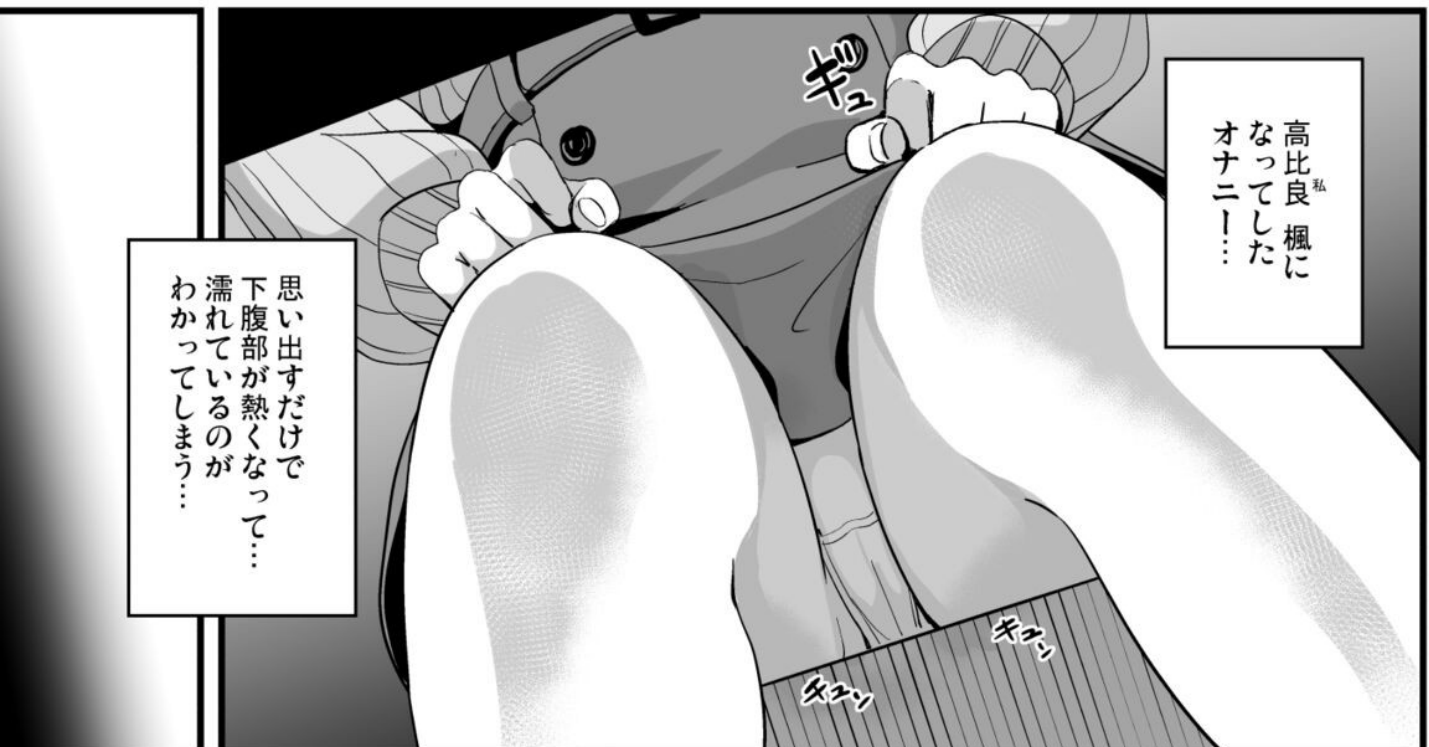
…な…
なんで知って…

ごめんね
冗談のつもり
だったんだけどな



だって…
高比良さんになつてする
オナニー

心が溶けちゃうほど
気持ちよかったでしょ？



高比良^私楓になつてした
オナニー…

思い出すだけで
下腹部が熱くなって…
濡れているのが
わかってしまう…



えーと
範囲はこの辺
だったよね

自分だけの
モノにしたかった

あの時の私は 大島健太
三浦さんの言葉で
ひどく焦って
いたんだと思う



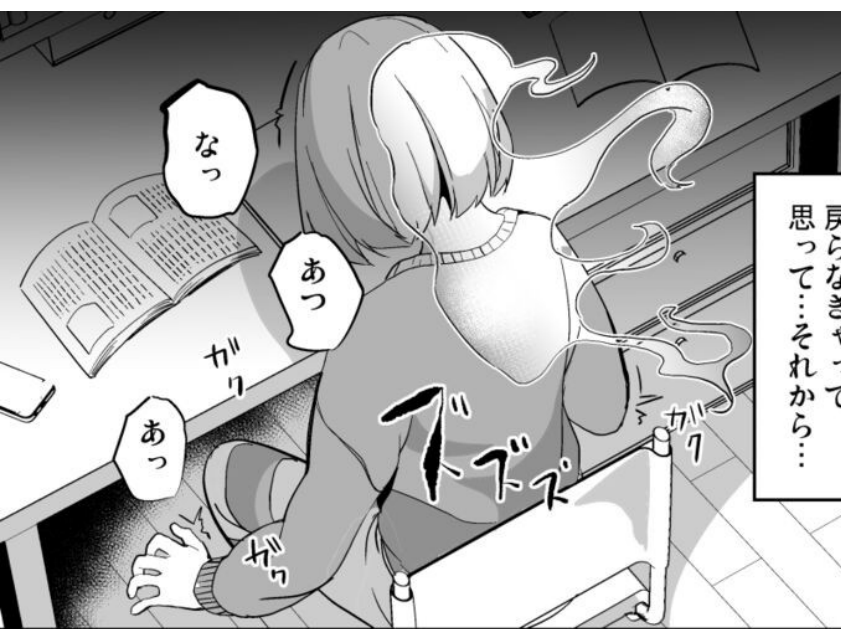
あッッッ

魂ごと
高比良 楓を
奪った



なに…
これ…

だから…
あのクスリを
使って



…「自分の身体」に
戻らなきゃって
思っ…それから…



…すごく不思議な
感じだった

自分が
大島君だったって
認識はあるのに

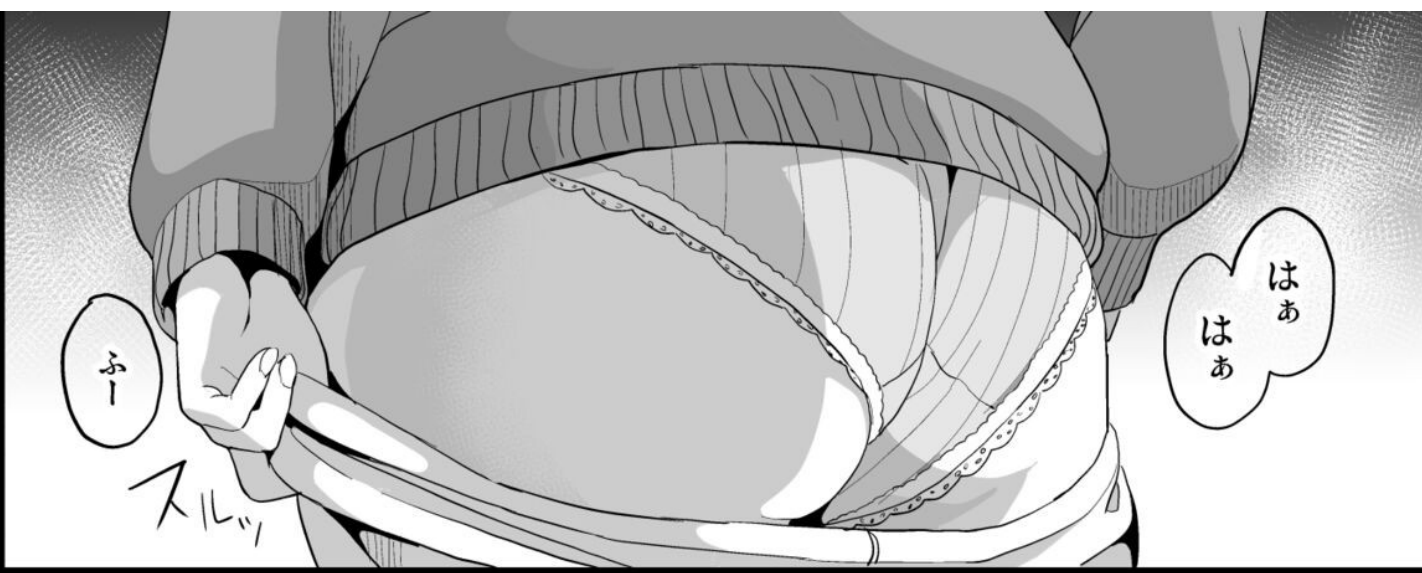
…私さっきまで
テスト勉強しようと
してた…?

身体だけじゃなく
頭の中も全部
私になっちゃって
たから



目の前には
いつも着ている
部屋着の
スエットと
レギンス

見慣れた光景の
はずなのに
すごくドキドキして…



はあ
はあ



お母さんってば
また子供っぽい
下着買ってきて

いい加減
自分で買うって
言ってるのに…



見慣れたはずの
自分の下着姿…

わっ…

あっ…

あの…
ごごめんね

興奮と恥ずかしさで
なぜか
謝ってしまった



あ…これ
高比良極
私の記憶だ…

キュッ
キュッ



ねえノルン どうしよ…

私を自分のモノに したいって思ったけど 本当にこんなことになっ ちゃうなんて

ふー

ふー

ごめんね… た…高比良さん

グチャ

…私って悩んだとき いつもこのぬいぐるみに 話しかけちゃう クセがあるんだ…



はあ… はあ…

なんで… こんなに…



フルンとって 私がつけた 私しか知らない ぬいぐるみの名前…

私だけの秘密…

…いい匂い… これ私の匂い なんだ…

ゴクゴク

フッ フッ



あつ
自分の事
考えてオナニー
するなんて

はあ

んっ

はあ

ガッ

ガッ

こゝこんなの
変だよ

ガッ



でゝでも
これは
私の身体なんだから
いいよねツ?

はあ

はあ

あつ

あつ

ガッ

ゝわ 私今
たツゝ高比良さん
アソコ
触っちゃってるよ?



ふー

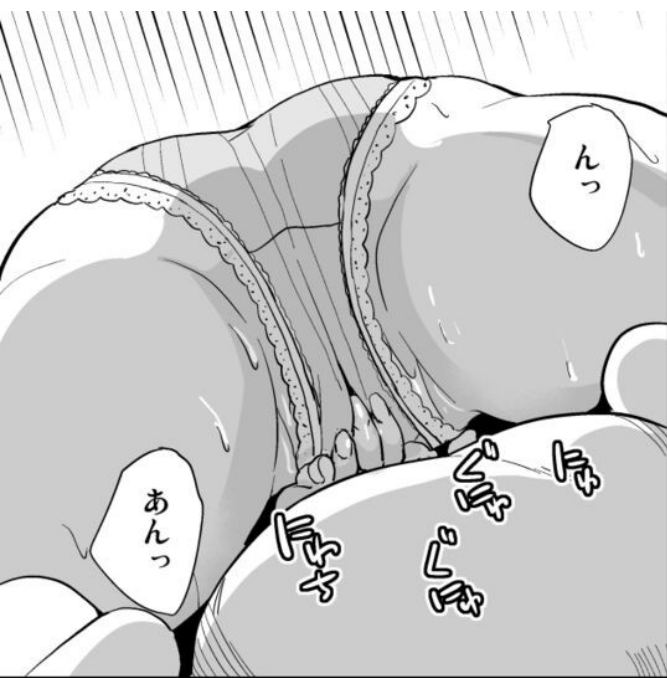
ふー

んっ

あゝ頭の中
ぐちゃぐちゃに
なっちゃいますう...

ガッ

ガッ





その日は
イツちゃったあとも
全然治まらなくて

初めて
直接触って
オナニーしちゃったんだ...

た...高比良さんの
アソコ...こんなに
濡れちゃってるよ?

自分で自分に
話しかけたら
もっと興奮してきて



思い出して
興奮しちゃった?

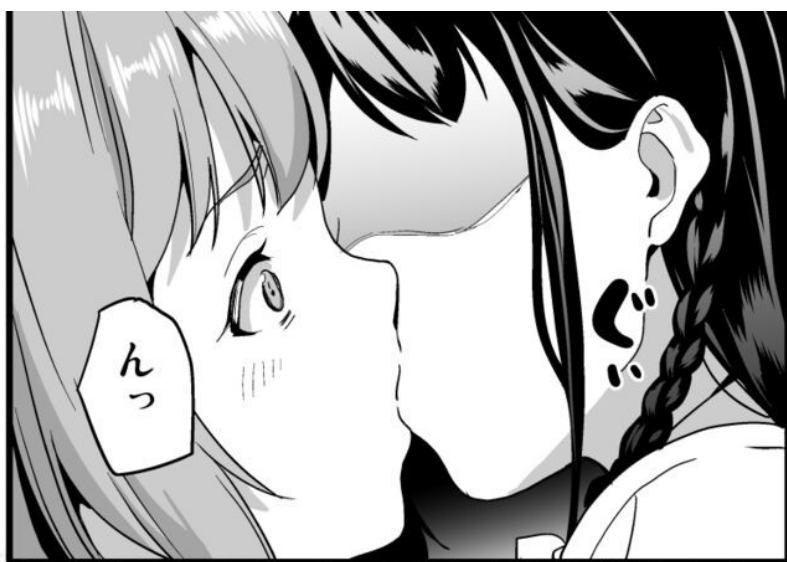
そんなこと...
ない...です



きゅっ!?

大島君?







なに...これ!?
自分で触った時より
全然違ってー

み三浦さんっ
やめ...あっ



あっ

あっ

わわ...
わたしは
高比良
楓です

ほら
自分で言ってみて
「私は高比良楓です」って



きつとね
まだ完全に
混じってないと
思うの

あっ
はあ

はあ



ほら気持ちよくて
もう我慢できない



そうだよ
あなたは
高比良楓…

あっ
その身体も心も
この快感も
ぜーんぶあなたのもの

あっ
これまでも
これからの
人生もずーっと

あっ
そう
望んだんだよね？



私…生まれてから
ずっと高比良楓で

…大丈夫
もう気持ちいいことしか
考えなくていいんだよ

あッ あれ!?

大島君は
友達…!?



激しい快感で
自分自身が
ドロドロに溶けて

なにかと
混ざり合って
消えていくような
感覚…

怖い…
だけどもっと
シてほしい

だめっ

ぢゅ

ぢゅぽ

ぢゅぽ

ぢゅぽ

んっ

あっ

あっ

んっ

はあ

そんなのっ

あっ

くぢゅ

くぢゅ

あっ

んっ

ぢゅぽ
ぢゅぽ



だだめ
それ以上…はっ

わ…私…
おかしく…

わっ

わっ



あーっ



長く押し寄せる
多幸福感の中

…なんで？
元に戻りたいなんて
思ったんだろう…！

はあ
はあ

ぼんやり
そんな事を
考えていた…